

EⅦ論文

中国語の「了」に対応する日本語表現

孫 偉

要 旨

中国語の動態助詞“了”は完了あるいは実現を表すと解釈されている。しかし、実際には、これを日本語の「ル、タ、テイル、テイタ」が用いられるいずれの文にも訳すことができる。本研究では、構造研究法と対照研究法を用いて、両言語のテンス・アスペクトの構造を考えつつ、中国語の“了”と日本語の「ル、タ、テイル、テイタ」などの表現との対応関係を究明する。

キーワード：“了”，テンス・アスペクト，構造，対応表現

0 はじめに

0.1 “了”に対応する日本語訳の多さ

中国語の動態助詞“了”が用いられる文の日本語訳を観察すれば、その訳し方の多さに目が引かれる。たとえば、下に挙げた例のように、“了”は「ル、タ、テイル、テイタ」のみならず、「テシマウ」「テアル」などのような日本語表現にも訳すことができる。

- (1) 走到了这条街的中段，在一所更大的公馆的门前，弟兄两个站住了。／この街の中ほど、ひとときわ豪壮な邸の門前まで来て、この兄弟は足をとめた。(巴金『家』)
- (2) 他们差不多每个星期日下午都要到哥哥的办公室。跟往常一样，他们也买了几本新书。／彼らはほとんど日曜日の午後には兄の事務室へ遊びに来るのだ。いつものように彼らは幾冊か新刊書を買ってきている。(同上)
- (3) “我们学堂上个礼拜就放假了。说是经费缺少，所以早点放学，”琴回答道，她已经放下了饭碗。／「わたしたちの方は先週から休みよ。経費が足りないから早く休みにしたんですって」琴はもう茶碗をおいていた。(同上)
- (4) “你总是嘴硬，我说不过你！”觉民笑了笑，就往前走了。／「またそんなことをいう。おまえのべらす口にはかなわんよ」觉民は笑ったふりをして行ってしまった。(同上)
- (5) 随随的大是个瞎子。据说他三岁上害了场大病，险些送了命，小棺材也打下了他又没死，单是把一双眼睛瞎了。／随随の父親は盲目である。なんでも三歳の時大病を患って危うく命を落とすところだったという。小さな棺桶まで用意してあったのだが結局助かり、そのかわり失明したとか。(史铁生『插队的故事』)

0.2 “了”の多種の役割

中国語では、“了”に関する研究が非常に多い。一般的には、“了”は過去の已然も過去と現在も区別しない已然を表すことができるとされている(房玉清1992, 戴耀晶1997, 李鉄根1999など)。また、“了”が、動作の開始から完了までの過程にある任意の一点に用いられる(劉月華ほか2001)という解釈もあり、中国語のパーフェクトは“了”によって表される(李呐・石毓智1994)という考え方もある。つまり、“了”はテンス・アスペクト範疇においては、多種の役割を果たすことができ、異なる文脈に用いられる“了”文が表す意味と構造も異なっているということである。

0.3 “了₁”, “了₂”, “了₁₊₂”

中国語の“了”は“了₁”と“了₂”に分けられている。“了₁”は動詞の後ろに付き、完了を表すものであるが、“了₂”は文末に用いられ、語気を表すものである。“了”が文末に用いられ動詞に付く場合、“了₁”と“了₂”の両方の機能を持つため、“了₁₊₂”と表示される。

0.4 日本語での研究

現代日本語のテンス・アスペクトとその標記については、金田一春彦(1950, 1955)の研究からスタートし、奥田靖雄(1977)、高橋太郎(1985)や工藤真由美(1985)の研究を経て、工藤真由美(1995)にまとめられている。すなわち、「ル、タ、テイル、テイタ」は、それぞれ「完成相・非過去」「完成相・過去」「継続相・非過去」「継続相・過去」という基本的意味では尽きず、「パーフェクト・反復・習慣」という派生的意味をも持っている、ということである。

0.5 本研究は構造研究法に基づく

今泉喜一(2000)は、構造研究法(図形表示法)を創出し、日本語のアスペクトの深層構造を解明している。この研究方法は、理論上すべての言語に適用できる。本研究は、上述した中国語の“了”と日本語の「ル、タ、テイル、テイタ」などの意味・機能を対照的に解析しつつ、“了”およびそれに対応する日本語表現を考えてみる。

1 両言語のテンス・アスペクト構造

1.1 図による表示

今泉喜一(2000)の構造研究法にしたがって考えれば、中国語と日本語のテンス・アスペクトの時間的構造関係を図1のように表示することができる。

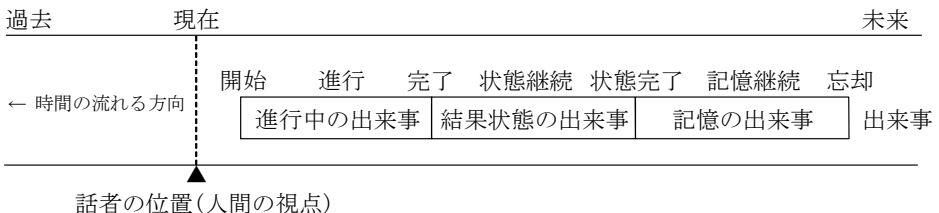


図1 テンスとアスペクトの位置関係

時間の流れを川の流れに、出来事を舟にたとえることができる。出来事という舟が上流(未来)から下流(過去)に移動すると考えられる。話者が「現在」位置に立ち、出来事の全体あるいは一部が未来・現在・過去のいずれの時間に生起するかを見ることができる。この外部から出来事の発生時間(未来・現在・過去)を観察するとき得られる概念がテンスである。時間の流れの中で動いている一方、出来事自体も様々な様相を呈している。人間が出来事を表現するには、その出来事の開始から人間が完全に忘却するまでという過程が存在していると想定できる。この過程のなかで、出来事がどの段階に進んでいるのかを見ることができる。即ち、出来事の内部(動作開始・動作進行・・・結果記憶持続)を観察するとき、アスペクトの概念が得られる。

1.2 2桁数による表示

話者がことばで出来事を表現するとき、この出来事を時間の流れの中に置いて描写する。このとき、出来事を丸ごと成立したものとして見ることもできるが、出来事のある局面を特定し、それに焦点を合わせて表現することが多い。この選択された局面は「アスペクト言及点」(今泉喜一2000:144)と呼ばれる。話者がいつも「現在」の位置に立って出来事の変化をことばで表現するため、話者の位置と選択された局面の間に一定の時間関係が生じることになる。この関係は下図のように数字で表せる。

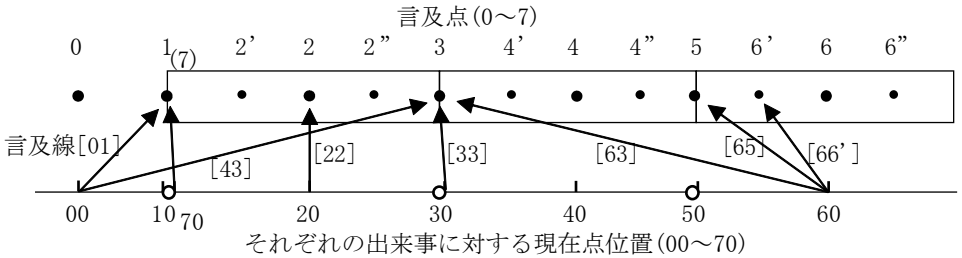


図2 現在点と言及点の位置関係(肯定表現図)

図2では、現在点の位置(話者の位置)を2桁の数字で、話者が言及する位置——言及点を1桁の数字で表示している。この両者の合計数字はテンスとアスペクトの位置を示している。現在点と言及点を結ぶ線は「言及線」と呼び、[01]のような数字で表すことができる。つまり、[01]は話者の位置が00であり、言及点が1である、と意味している。たとえば、

(6) 明天，我去北京。／明日，北京に行く。[01]

(7) 昨天去学校了。／昨日，学校へ行っていた。[64][65]

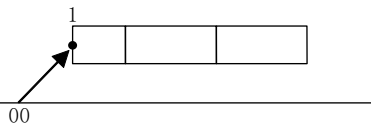


図3 (明天)去 / 行く

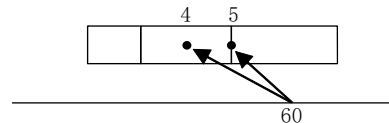


図4 去(学校)了 / 行っていた

2 基本的アスペクトの場合

中国語の“了”は主に過去の出来事を表す。それに対し、日本語では「ル」が動作の開始を表し、「テイテ」が非過去の動作進行を表し、「テイタ」が過去の動作進行を表す(今泉喜一2000)。

2.1 過去の出来事

過去の時間領域においては、中国語の“了”は過去を表す時間の有無にかかわらず、出来事の完了を表す。日本語では過去の出来事は完了後の局面「タ」で表すこともできれば、「テイタ」で表すこともできる。

過去動作完了 [43] [53] [63]

- (8) 余占鳌跳起来，进了静悄悄的村子。／余占鳌は跳び起きて、静まりかえった村へ入った。(莫言『紅高粱』)

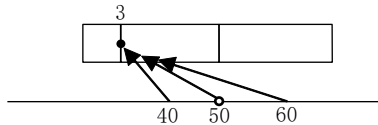


図5 进了 / 入った

過去動作進行・完了 [42] [52] [62] ・ [43] [53] [63]

- (9) 我不敢走近她身边，我只好远远地站着看她。她那双水汪汪的眼睛把我看了好一会儿。／俺は近寄ろうとはしないで、遠くに立ったままで彼女を見ているより仕方がなかった。彼女の潤んだ眼がしばらく俺を見つめていた。(巴金『家』)

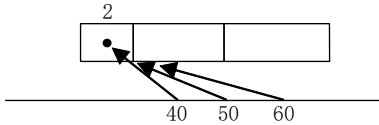


図6a 看了 / 見つめていた

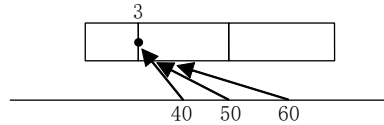


図6b 看了 / 見つめていた

例(8)は動作の過去の完了を表し、(9)は動作の過去の進行・進行完了を表す。(8)はもちろんだが、(9)の場合、進行の過去完了の出来事には、中国語では“了”が用いられ、日本語の「タ」「テイタ」と対応している。

過去結果状態継続 [54] [64]

- (10) 門の外の坂下に見える一軒の藁屋は倒れていた。瓦屋根の家は屋根瓦を剥ぎ落されていた。／门外坡下所见到的一座草房倒塌了。瓦顶的房子，屋顶上的瓦也给揭下来了。(井伏鱒二『黒い雨』)

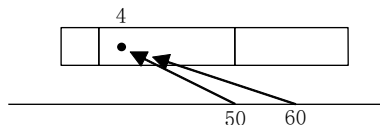


図7 倒れていた、倒塌了 / 剥ぎ落されていた、给揭下来了

- (11) 寢床はもう一組同一炬燵に敷いてあったが、旅僧はこれには来らず、横に枕を並べて、火の気のない臥床に寝た。／熏笼的另一头也铺了一套被褥，旅僧却没有过去，他和我并着枕头，睡在没有火气的被子里。(泉鏡花『高野聖』)

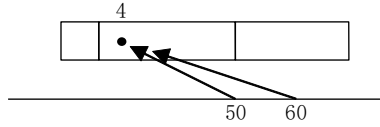


図8 敷いてあった / 铺了

日本語では、過去結果状態継続は(10)の「テイタ」と(11)の「テアッタ」によって表される。

「テイタ」は結果としての状態継続に注目しているが、「テアッタ」は、誰かの意図により生じた状態の継続として場面を捉えている。

それに対し、中国語は“了”が「テイタ」と「テアッタ」に対応している。本来、中国語の過去継続相は動態助詞“着”と過去を表す時間詞の併用によって表されるが、ここでは“着”と“了”の互換が行なわれている。

中国語の“着”と“了”の互換使用には、次のような一定の制限がある。

「静態存在文の中で“V了=V着”のカギは、文中の動詞が動態意義と静態意義を持ち、動作と動作完了後の状態を表せる語彙の意味を持つものに限る」(任鷹2000: 33)

これにしたがって考えれば、(10)と(11)の動詞は動態意義と静態意義を持つ動詞であるため、“了”で状態継続[4]と、状態完了[5]と、記憶継続[6]を表すことができると考えられる。

過去結果状態完了[64][65]

- (12) 父亲现在趴在地方，那时候堆满了洁白的石条和石块，一堆堆粗粒黄沙堆在堤上，像一排排大坟。／父がいま伏せている場所には、あのときまっ白な石材や石塊が山のように積まれ、土手には大きな墳墓のような砂利や赤土の山が幾つも並んでいた。(莫言『紅高粱』)

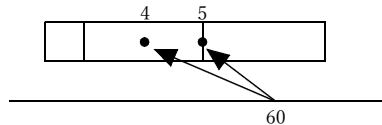


図9 堆滿了 / 並んでいた

「父がいま伏せている場所」には、過去のある状態が存続していたが、今はすでに存続していないため、過去の状態が消滅したと認識できる。状態の「完了」を特に意識すれば[65]としての把握となる。

過去結果記憶継続[66']

- (13) しかし、それがいつ自分の体に飛び込んで来たか、彼女は知らなかった。気

付いた時、自分は克平を愛していたと思う。／但她并不知这爱情是何时闯进自己心头的。等觉察之时，早已爱上了克平。(井上靖『あした来る人』)

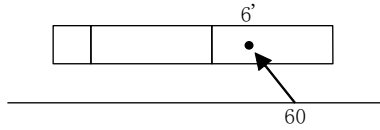


図10 愛していた / 爱上了

(13)は、話者が過去のある時点(「気づいた時」)に立ってその前に生じた出来事を回顧する、ということ述べている。この時の局面は[66']が示す過去結果記憶継続である。中国語の“了”は日本語の「テイタ」と対応して、この過去結果記憶の継続状態を表す。

2.2 非過去の出来事

現在動作完了[33]

(14) 现在我们上了轨道！／いまおれたちは線路にのった！(浩然『金光大道』)

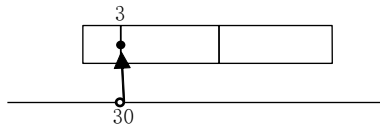


図11 上了 / のった

現在動作進行完了[33]

(15) “其实天天都想到要来，天天都来不成。今天实在忍不住了。章元元同志去世了！我刚刚参加了她的追悼会。”／「ほんとは毎日、来たい来たいと思っていたんだけど、来られなかった。きょうはどうにも我慢できなくて。章元元同志が亡くなったんだ。今まで追悼会に出ている」。(戴厚英『人啊，人』)

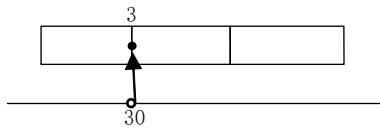


図12 参加了 / 出ている

現在動作(進行)完了の「現在」は一種の直近過去である(今泉喜一2012)ため、文法上では過去の完了と同様な表現方法をとることになる。つまり、中国語の“了”と日本語の「タ、テイタ」が対応して局面[33]を表すことになる。

現在結果状態継続[44]

(16) 你不错，读了不少书。／たしかに君は立派なものだ。たくさん本を読んでいるからな。(阿城『棋王』)

(17) 姐姐，也许报纸上都写了吧？／おねえちゃん、ひょっとしたら新聞に書いてあるかも。(张海迪『轮椅上的梦』)

中国語の“了”は実現を表し、動作・行為・状態などを事実にする役割を果たす(侯学超 1998:381)。

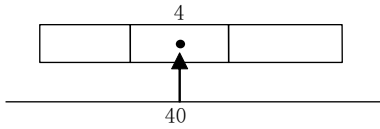


図13 读了 / 読んでいる

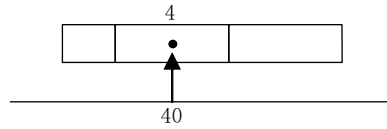


図14 写了 / 書いてある

例(16)では，“了”の使用によって「読む」動作完了後に残存した状態を表す。日本語の「テイル」の中心的・一般的意味は「既然の結果が現在存在していること」「あることが実現して、それが終わってしまわず、その結果が何らかの形で現在に存在している(残っている)」(寺村秀夫1984:125-146)ということになる。中国語の“了”には、日本語の「テイル」だけでなく、状態のみを表す(17)の「テアル」も対応している。

現在結果状態完了[55]

(18) 你刚刚昏倒了。/ 君は、さっき気を失って倒れていた。

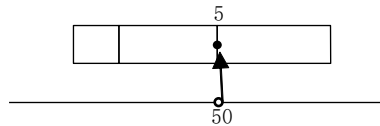


図15 昏倒了 / 倒れていた

現在結果状態完了は、直近過去である。動態助詞“了”は、「倒れる」動作の発生から結果状態に変わり、そしてその結果状態が消滅した、ということを表す。つまり、現在結果状態完了は中国語の“了”と日本語の「テイタ」によって表される。

現在結果記憶継続[66]

(19) 事件当日の夜、味見和三郎は修理を依頼されていた留守番電話をとりに、藤山家を訪れている。/ 在事件发生的当天晚上，味见和三郎由于接到需要维修留言电话的委托而拜访了藤山家。(テレビ朝日『時効警察 第二話』)

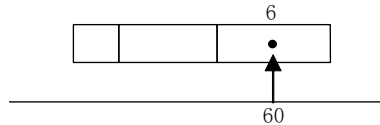


図16 訪れている / 拜访了

現在結果記憶継続は現在の脳裏に記憶されたものであり、話者が現在以前の動作あるいは状態に対する回想的な陳述である。それは「過去における完結相」の表示と機能的にはほとんど同じである。したがって、中国語では過去を表す時間詞または文脈と動態助詞“了”の組み合わせで表すことができ、日本語の「テイル」と対応している。

未来動作(進行)完了[03][13][23]

(20) 你忘了他吧！(了₁) / 彼のことを忘れよう。

(21) 琴姐，明天你要回去了。(了₁₊₂) / 琴姐，明日はまたあなたが帰って行ってしまうでしょう。(巴金『家』)

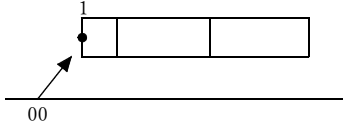


図17 忘了 / 忘れよう

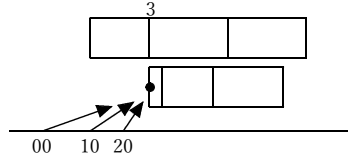


図18 回去了 / 帰って行ってしまう

中国語の“了”は未来完了を表す文にも使用できる。

(20)のような命令や願望を表す文では、命令文と願望文自体が未然を表し(張斌2006: 338)、中国語の動詞「忘」が完成性の動詞であるため、“了”が用いられている。

(21)には未来時間を示す中国語の時間名詞“明天”と時間副詞“要”が用いられ、“了”が語尾に用いられている。この時の“了”には、実現の意味を示す“了₁”と新しい状況が発生または出現の意味を示す“了₂”が含まれている(侯学超1998: 382)ため、“了”文は未来完了を表すことができる。

つまり、(21)のような未来を示す時間詞が存在する文では、話者が“了”を使って出来事の未来完了を表すことができる。それに対して、日本語では「タ」と「テイタ」は過去の時間を表すため、未来の文に用いることができない。その代わりに、動詞の意志形「忘れよう」で意味的に表し、あるいは補助動詞「てしまう」などの表現で未来完了を表す。

未来結果状態継続[04][14][24][34]

(22) 明天下午3点，我在车站入口等你。我穿着蓝色西服，手里拿着一个红包。 / 明日の午後3時，駅の入り口で待っている。私は紺色のスーツを着て，手に赤いカバンを持っている。

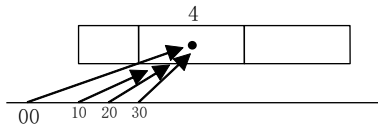


図19 拿着 / 持っている

過去と現在の結果状態継続と異なり、未来結果状態継続は想像上の局面であり、動作はまだ実際に完了していない。そのため、中国語の“着”と“了”の互換はできず、“了”で未来結果状態継続を表すことができない。それに対し、日本語では「テイル」で未来結果状態継続を表すことができる。

未来結果状態完了[05][15][25][35][45]

(23) 下个月，花就开完了。 / 来月，花は咲き終わってしまう。

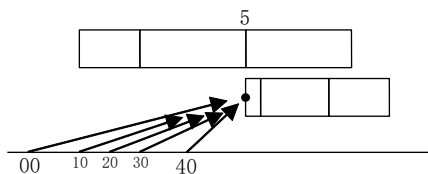


図20 開完了 / 咲終わってしまう

中国語では、“了”は(20)(21)のような未来完了を表すことができるが、(22)のような未来状態継続を表すことができない。また、状態の完了を表すには補助動詞“完”を用いる必要がある。(23)では、“花”は“开着”(咲いている)の状態から“开完”(咲き終わる)の状態消滅に変わるとい過程を経ているため、完成の意味を表す補助動詞“完”と動態助詞“了”の結び付いた“完了”で未来の結果状態完了を表すことになる。

未来結果記憶 [06] [16] [26] [36] [46] [56]

(24) 到明天下午婚礼结束，我总共穿4次和服。

／明日の午後結婚式が終わるまで、私は4回着物を着ている。

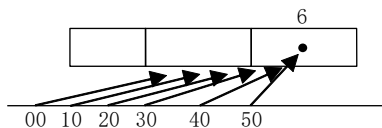


図21 穿 / 着ている

中国語では“了”で未来記憶継続を表すことができないが、日本語では「テイル」をもってそれを表すことができる。

3 派生的アスペクトと開始(後)の局面

派生的アスペクトは基本的アスペクトの局面から派生したものであり、反復、単純状態、経験、パーフェクトという局面が含まれる。

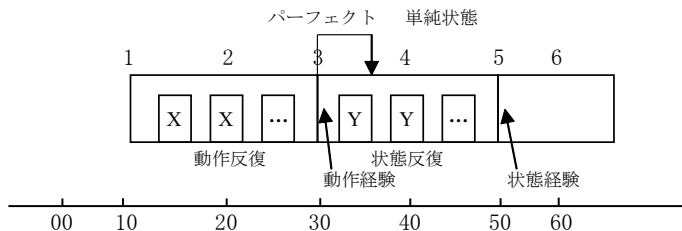


図22 派生的アスペクトの構造

3.1 反復

動作の反復は図22にある複数の動作Xが完全停止まで繰り返されることであり、この繰り返される複数のXを一つの局面2としてとらえた概念である。

中国語の反復のAspectについては、李宇明は、次のように定義し、反復を表す言語手段を語彙手段と語法手段に分けている。

「反復は一定の言語手段を用いて、一種あるいは多種の動作の反復進行、一種あるいは多種の現象の反復出現を表す語彙範疇である」(李宇明2002: 210)

語彙手段は、“三回”“何回”のような語彙の意味によって表されるものであり、語法手段は、“V啊V啊”“V₁了(又)V₂”のような各種動詞の重複使用の形式によって表される。

動作や状態の反復は必ず一定の時間内に行われるため、その時間や頻度を表す要素が必要になる。非過去あるいは過去の時間が示されていれば、動態助詞“零”と“着”および副詞“正在”が動作と状態の反復を表すことができる。動態助詞“了”は、時間の完結性を表す機能を持つため、それだけでは反復を表すことができない。ただし、以下のような使い方がある。

- (25) 廊下の突き当りにある電話口で、大貫八千代は、驚いた時の癖で、少し大仰な調子で、「あら」を二つ三つ重ねて口から出していた。／走廊尽头处的电话机旁，大贯八千代以不无夸张的语气，一连说了三个“哎哟”。(あした来る人)

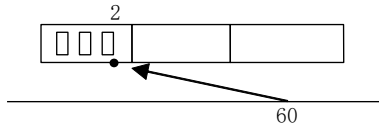


図23 出していた / 说了三个

日本語では、数量を表す「二つ三つ」と「テイタ」の併用で反復の意味を表している。中国語では、“了”の後に動作の回数が示される言葉が用いられ、“说了三个”のように、“三个”という語彙の意味によって反復を表している。

- (26) 君どうだ、今夜の送別会に大に飲んだあと、赤シャツと野田を撲ってやらないかと面白半分に勧めてみたら、山嵐はそうだなと考えていたが、今夜はまあよそうと云った。／“老兄，怎么样？今晚欢送会上大喝一顿之后，把红衬衫和帮腔佬揍一顿吧？”我半开玩笑地怂恿他。野猪一听，说：“好啊。”但他想了一想又说：“今晚就算了吧！”(夏目漱石『坊っちゃん』)

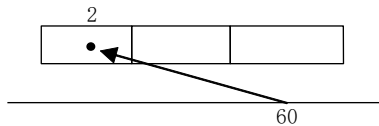


図24 考えていた / 想了一想

- (27) 赤シャツはおれらの行為を弁解しながら控所を一人ごとに廻ってあるいていた。／红衬衫为我们的行动辩解，到休息室的每个人面前走了一圈。(同上)

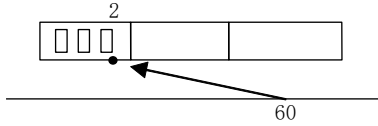


図25 廻ってあるいていた / 走了一圈

(26)の日本語では「テイタ」のみが用いられ、(27)の日本語では「一人ごとに」と「テイタ」が併用されている。それに対し、中国語では、それぞれ“想了一想”と“走了一圈”に訳されている。つまり、中国語の“了”は必ず反復の意味を表す数量詞などのことばと一緒に用いなければならない。

一つの動作の反復は、複数の同様な動作が繰り返して進行するという構造になる。つまり、反復される出来事は、時間軸上に一定の間隔を置いて並ぶ多数の同じ出来事の集合である。その出来事の集合を一つの全体としてとらえれば、ある程度の長さをもつことになる。したがって、日本語では、出来事を非完結相で捉えることが可能となり、「テイル」によって表すことができる。このようなことは、状態の反復についても同様にいえる。

(28) 晓燕的脸红了又白，白了又红。 / 晓燕の顔は、あかくなったと思うと、白くなり、またふたたびあかくなっていた。 (杨沫『青春之歌』)

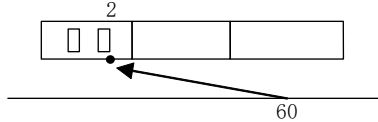


図26 红了又白，白了又红 / あかくなったと思うと、白くなり、またふたたびあかくなっていた

一方、日本語の反復相は「テイル」だけでなく「ル」で表すこともできる(工藤真由美1995)。

(29) (明日から)毎日，学校へ行っている。

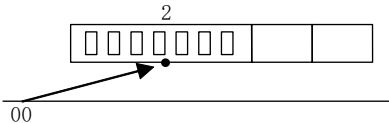


図27 行っている

(30) (明日から)毎日，学校へ行く。

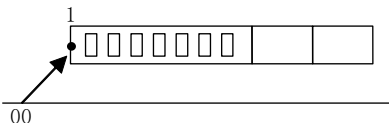
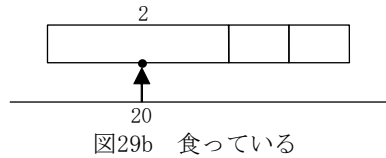
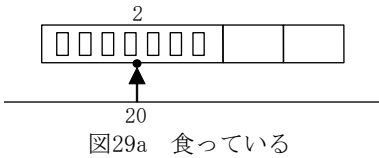


図28 行く

上例のように、「反復される出来事」の一つは、特別の条件がなければ一回で終了するが、「毎日」などの反復を意味する副詞を伴うことによって、反復されることが示されるような出来事がある。この種の出来事では、「反復」という意味が明示的に現れており、反復は不特定の時間にわたって継続するものであるため、その開始点あるいは終結点は不明確でもよい。つまり、この種の反復出来事は、ある意味で状態動詞の意味する出来事に近い性質をもっている。そのため、「ル」によって表すことができる。もう一つは、「通う」、「勤める」などの動詞によって表示される、本質的になんらかの行為の反復を内在させている出来事である。この場合には、「反復」という意味は明示的ではない。そのため、継続動詞と同様に、「ル」で「未来継続」を表し、「テイル」で「現在継続」を表す。

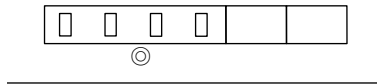
「テイル」と「ル」の違いは、「テイル」が一時的・偶発的な出来事を表す傾向があるのに対し、「ル」がより本質・恒常的な出来事を表すのに適しているということである。

- (31) 「それで、いまやそうやっていて、いったいどうして食っているの难道？」
 「どうして食っているかって？へ、へ。このビルマの国では、坊主になってさえいけば食うにはこまらない。」(竹山道雄『ビルマの竖琴』)



さらに、次のような法則的な記述では、「テイル」は用いられず、もっぱら「ル」が用いられる。

- (32) 「へい、もうすっかり冬支度です。雪の後でお天気になる前の晩は、特別冷えます。
 今夜はこれでもう氷点を下さっておりますでしょうね。」(川端康成『雪国』)



「ル」が反復性を表せるのは、動的な意味を捨て、属性的・背景的な意味に踏み込んでいっているからである。

3.2 経験

経験の aspekto は結果状態継続から派生したものである(吉川武時1973:192)。いわゆる経験は、話者が図22の40あるいは60に位置して、その前に生起した出来事を観察・表現することである。注目されているのは過去に生起した丸ごとの動作あるいは

作用であり、出来事完了後の局面には関係しないのである。したがって、経験を表す文には「現在」のようなことばが用いられないのみならず、動作や作用を表さない動詞も経験を表すことができない(藤井正1966:105-107)。このようなことは、中国語の経験相についても同様に言える。

中国語の経験相の標記は、一般的には動態助詞“过”であると認識されている。経験相は完結相の一種であり、現実相と同じように、経験相は外部から時間過程中の出来事構成を観察し、出来事の分解できない完全な性質を反映している(戴耀晶1997:57)。つまり、経験相は、話者が40の現在位置に立って1～3の過程を丸ごとにとらえる、もしくは60の現在位置に立って3～5の過程を丸ごとにとらえる、ということである。

- (33) 我们的副总理差不多都出去过，副委员长好多都出去过。／われわれの副総理はほとんど外国を訪れているが、副委員長もかなり多くの者が出かけている。(『邓小平文选第二卷』)(現在動作経験)

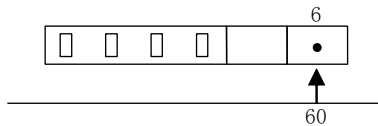


図31 出去过 / 出かけている

- (34) 九月の中ごろに出発するということは、アルさんが三沢の口から聞いていたが杏子は、「さあ、まだ、何とも一」と、そんな風に答えた。／从乙醇或三泽口里，听到过大约九月中旬出发。但杏子嘴上回答道：“这一一，还什么都没有……”。(石川達三『青春の蹉跎』)(過去動作経験)

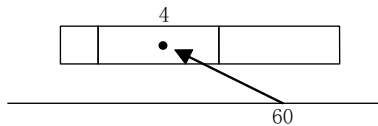


図32 聞いていた / 听到过

- (35) 岸本家は、孤峯庵の檀家であった。名誉総代にもなっていたから、和尚がこうして奥の間にさっさと通っても不思議ではないのだが、折から、枕元に坐っていた弟子たちの中で、病人の口もとを水綿でしめらせていた兄弟子の笹井南窓が、ちょっと気に病んだ。／岸本家は孤峰庵の施主，而且还当过施主家的名誉代表，因此，和尚这样无所顾忌地出入家门并不奇怪。这时坐在南岳枕头旁边的弟子们中间，大弟子笹井南窗正用沾水的绵球擦病人的嘴角，脸色忧虑，那表情令人感到不祥之兆。(水上勉『雁の寺』)(過去状態経験)

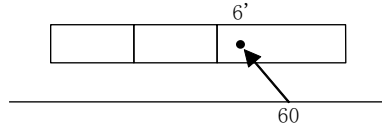


図33 なっていた / 当过

日本語の「テイル，テイタ」に対しては，中国語の文では“过”が用いられている。これらの“过”を“了”に変えれば，「完了」の意味になってしまう。“过”が動詞の後ろに用いられた場合には主に動作の完了と過去にこのような出来事があったということを表す(呂叔湘1999：246-247)ため，中国語の動態助詞“过”が経験を表すアスペクト標記であり，“了”が経験を表さない，と認識すべきである。

3.3 単純状態

単純状態の構造は図22の局面4にあたる。いわゆる単純状態は，主語と述語との結びつきが「主体と動作」あるいは「主体と変化」とのむすびつきをあらわさなくなつて，「もち主と状態」というむすびつき(奥田靖雄1978)のある構造，すなわち，形容詞文的な構造の中で「テイル」が使われるという条件の限定がある。その動詞が表すのは，先行する動作の「結果の状態」ではなく，それらをまったく問題にしない単純な状態である。日本語では，過去の単純状態は「テイタ」，非過去の単純状態は「テイル」によって表される。

また，中国語にも日本語にも，あたかも動作過程を持たないような動詞がある。例えば，“耸立”(聳える)の動作は，過程はあるが，人間には見るできない。

“死”(死ぬ)の動作も過程があるが，瞬間に終わってしまうため，ほとんどないに等しい。この動作過程を無視してもいいような，よく状態で現れる局面を単純状態という。当然，話者が単純に状態の局面に注目し，それ以外の局面に全く関心をよせないときもある。このときの状態も単純状態の部類に入る。単純状態を表す中国語の標記は，動作性動詞あるいは状態性動詞の後ろに用いられる“着”であるが，“着”の代わりに“了”を用いて(“着”と“了”が互換できる場合)表現することもできる。その用法は結果状態持続を表す場合と同様であるが，未来の単純状態を表すには，“了”が用いにくい。

- (36) 明天你到单位找我吧。我穿一身西服，带着一副眼镜。/ 明日，会社に来て，私とあってください。私はスーツを着ており，眼鏡をかけている。(動作動詞・未来単純状態)

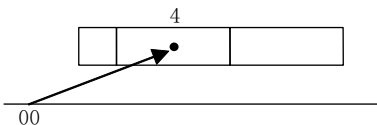


図34 穿，着ており / 带着，かけている

- (37) 我们俩一人穿了件红色的衣服，一人穿了件白色的衣服。/ 私たち二人，一人

は赤の服を着ており，一人は白の服を着ている。（『北京大学CCL語料庫』）
（動作動詞・現在単純状態）

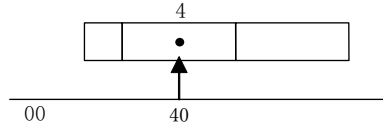


図35 穿了，着ており / 穿了，着ている

(38)她兴奋得脸也红了，嘴唇哆嗦着，眼里也充满了泪光。／夢中で話す彼女は頬を紅潮させ，唇を震わせ，目にいっぱい涙をためている。（冰心『关于女人』）（状態動詞・現在単純状態）

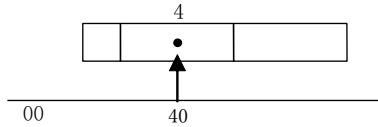


図36 充满了 / ためている

(39)那时候，齐威王已经死了。／あのとき，齐威王はすでに死んでいた。（『北京大学CCL語料庫』）（瞬間動詞・過去単純状態）

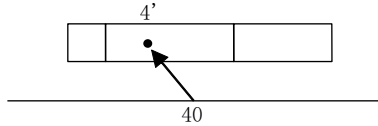


図37 死了 / 死んでいた

(40)我那时当了饲养员，喂牛。／当時私は牛の飼育係をしていた。（史铁生『插队的故事』）（状態動詞・過去単純状態）

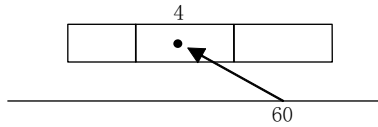


図38 当了 / していた

以上の例のように，単純状態は，①状態の期限をまったく制限しないか，制限する必要がない，それゆえ，②先行動作がない，あるいは，先行動作がまったく問題にされないか，問題にできない，というコンテクツ的条件を備えている必要があると考えられる。

3.4 パーフェクト

3.4.1 “了”と「テイル」が表すパーフェクト

パーフェクトの機能は，状態と叙述の時間に関連させることにあり，叙述中のある一点の情景に関わる背景評論を導入することにある（李訥・石毓智1994：119-120）。

これを構造的に考えれば、パーフェクトは言及点3が言及点4にかかわる局面(図22)にあたる。中国語の“了”はパーフェクトを表すと考えられている。それは「“了”の基本的交際機能は一種の『目前相關状態』を表すことであり、つまり、“了”は現在時間において一つの出来事が某特定の『参照時間』と特定の関連を持つということを表す」(李昉・石毓智1994: 121)からである。

日本語のシテイルの基本的意味は変化の結果の継続と動きの継続であり、派生的意味はペルフェクト(パーフェクト)、反復・習慣、単なる状態である(副島健作2007: 132)。シテイルを用いてパーフェクトを表す場合には、①発話時点、出来事時点とは異なる<設定時点>が常にあること、②設定時点にたいして出来事時点が先行することが表されていて、テンス的要素としての<先行性>を含んでいること、③運動自体の<完成性>とともに、その運動が実現した後の<効力>も複合的に捉えるというアスペクト的要素を持っていること、という三つの点を平等に強調されなければならない。(工藤真由美1995: 99)

- (41) この手紙が貴方の手に落ちる頃には、私はもうこの世にはいないでしょう。
とくに死んでいるでしょう。／这封信落在你手里的时候，大概我已经离开这个世界，早就死了吧。(夏目漱石『坊ちゃん』)(未来パーフェクト)

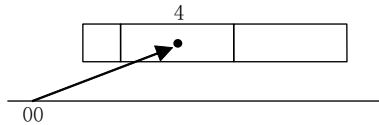


図39 死んでいる / 死了

日本語では、設定時点は「この世にはいない」によって表され、出来事時点は「死んでいる」によって表される。両出来事はともに未来時間にあり、出来事時点は設定時点に先行して、「死ぬ」出来事の結果は「この世にはいない」である。そのため、(41)の「テイル」が未来パーフェクトを表していると考えられる。中国語においては、「死了」は未来の出来事であるが、前文の出来事と一種の因果関係を持っているため、「了」は「テイル」と同様な働きをし、未来パーフェクトを表している。

- (42) 師範は制服をつけているが、中学は式後大抵は日本服に着換えているから、敵味方はすぐわかる。／师范的学生穿着制服; 中学学生在仪式结束后大都换了民族服装，所以敌我双方一看就明白。(同上)(現在パーフェクト)

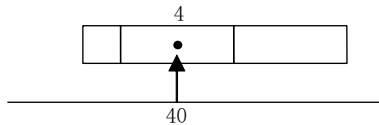


図40 着換えている / 换了

過去に終わった動作“换了”は、現在の“明白”の原因となっており、出来事時点である“换了”の動作時間は、設定時点に先行しているため、中国語の“了”は日本語の「テ

イル」と対応して現在のパーフェクトを表していることになる。

- (43) 「会っている？だれだい？」／“早都见过了？哪个？”（井上靖『あした来る人』）（現在パーフェクト）

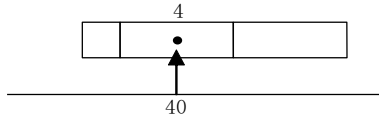


図41 会っている / 见过了

中国語の“了”を用いてパーフェクトを表す場合，“过+了”の形で現れるときもある。このような場合、それを“(V+过)+了”と見なすことができる（竟成1993：54）。すなわち、パーフェクトを表すのは“过”ではなく，“了”であるということである。

- (44) 天亮，等姑母醒来时，林道静已经烧好了开水和洗脸水。／夜が明けて，おばさんが目をさましたときには，道静はもうお湯をわかし，顔を洗うお湯の用意をしていた。（杨沫『青春之歌』）

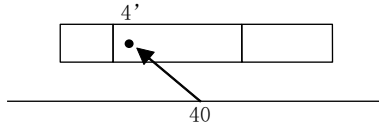


図42 烧好了 / 用意していた

設定時“姑母醒来”の前に，“烧好开水和洗脸水”という動作がすでに完了した。出来事は設定時より前に起こり，動作は完了したという特徴を持っているので，このような“了”の用法はパーフェクトの用法である。さらに，中国語では完了を強調するために，“已经”などの副詞を使うこともある。ここでは“了”を使うことによって，“烧好开水和洗脸水”を“开水和洗脸水现在可以用了”に結びつけている。つまり，中国語の“了”は日本語の「テイタ」と対応している。

3.4.2 「タ」と“了”が表すパーフェクト

日本語では，「タ」は出来事の過去完了を表すが，現在パーフェクトを表すこともできる。工藤真由美(1995：130-131)は，「タ」の現在パーフェクトを表す特徴を以下のように説明している。

＜現在パーフェクト＞のシタ形式は，＜日常会話＞で，頻繁に使用されるものである。次のように，波線部分で示した「これからのこと」を話し手が問題とする時，過去（発話時以前）に成立した運動の結果・効力こそが問題となってくる。過去の運動の結果・効力が存続しているがゆえに，それに基づいて，これらの行動が可能となるのである。発話主体は，現在との生きたつながりにおいて過去の出来事を把握している。話し手が，実践主体としてあるとすれば，未来につながる現在の状況に直接的に関係づけられた過去の出来事こそが，最重要であろう。

- ・「先生、邦枝さんから速達のお手紙が届きました。これで最後なのですから、どうぞ読んで差上げて下さい」
- ・「金はいった。これから銀行に金を受け取りに行こうと思うが、おまえも来ないか。いろいろと買いたいものもあるだろうから」

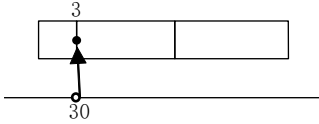


図43 届きました
はいった

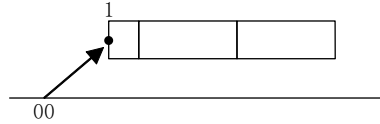


図44 どうぞ読んで差上げて下さい
おまえも来ないか

つまり、「<パーフェクト相現在>は、他の出来事との時間関係は無視して、現在と関わって重要な出来事を、<孤立的に>抜き出して取り上げる」(工藤真由美1995: 132)、のである。

上述の二例を中国語に訳せば、以下のようになる。

(45) 老师，邦枝发来的快递信件到了。这是最后一封信，请您给看看吧。

(46) 钱入账了。我想现在就去银行取钱，你也去吗？你是不是有想买的东西？

中国語の“了”は基本的アスペクトを表す場合には、日本語の「タ」と対応して「完了」を表す。この「完了」した局面が、ある出来事が達成した直後の段階にあり、なおかつ現在(これから)の出来事に効力・影響を与える機能を持っていれば、「現在パーフェクト」も表すということになる。つまり、(45)と(46)の“了”は、出来事の過去完了を表すのではなく、出来事が達成後の段階にあると認識し、それともなう後続の出来事に視点を置く意味(後続出来事への効力・影響)を表す、ということである。

3.5 「タ」と“了”が表す開始(後)の局面

日本語の「タ」は開始(後)の局面(図2局面77)を表すことができる(今泉喜一2012)。中国語の“了”については、劉月華ほか(2001: 363)は「動作動詞の後ろでは、“了”が動作の開始から完了までの過程にある任意の一点に用いられる。しかし、“了”が注目しているのは動作の発生だけである。動作の持続や完成などの意味は文脈、言語環境によって提供されるものである」と解釈している。

(47) 说着又伸手来抓。我赶快躲开，跑了。刚跑了两步，我想，干么不问问他叔叔的住处呢？于是又站了下来。／そういいながら、また手を伸ばしてきた。私はさっとよけて、逃げた。だけど、二、三步逃げたところで、この人に何さんの家をきけばいいと思いついて、立ち止まった。(戴厚英『人啊，人』)

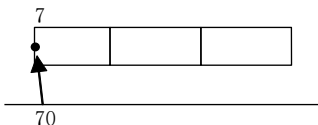


図45a 跑了 / 逃げた

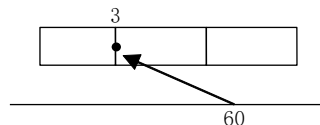


図45b 跑了两步 / 二、三步逃げた
站了下来 / 立ち止まった

動作動詞“跑”(逃げる)が表す出来事は、ほかの動詞と同様に動作の出来事、状態の出来事、記憶の出来事という3つの出来事に分けて考えることができる。上述のように、基本的アスペクトと派生的アスペクトにおいては、中国語の“了”は日本語の「タ、テイル、テイタ」と対応して言及点3以後の局面を表すことができる。しかし、(47)においては、“跑”(逃げる)の出来事は動作の出来事に限られ、進行内の局面のみを表している。この動作は、“跑”(逃げる)(開始前)→“跑了”(逃げた)(開始直後)→“正在跑”(逃げている)(進行中)→“跑了两步”(二、三步逃げた)(一旦停止)→“站了下来”(立ち止まった)(完了)、という過程を持つ。このような動作の前後過程と進行内出来事の構造で考えれば、中国語の“了”は日本語の「タ」と対応して開始(後)[77](図45a)の局面を表すことができると言える。

4 おわりに

中国語の“了”と日本語表現との対応関係は、次のページ(p.124)に示した表1のようにまとめることができる。その表で表していることは、次のようなことである。

4.1 基本的アスペクト

中国語の“了”は開始と進行の局面を表さないため、完了(局面3)以後の局面を表すことになる。ただし、未来結果状態完了を表す場合、完了の意味を表す副詞“完”と併用して、“完了”のかたちで表すことになる。

それに対し、日本語では、「タ、テイタ、テシマウ」で完了の局面を表し、「テイル、テイタ、テアル、テアッタ」で継続の局面を表す。

4.2 派生的アスペクト

中国語の“了”は動詞・数量詞と併用することで反復を表すことができるが、経験相を表すことができない(中国語の経験相は“过”によって表される)。そして、“了”は、過去と現在の単純状態を表すが、未来の単純状態を表さず、パーフェクトを表すことができる。

それに対し、日本語では、存在しない未来経験を除き、「タ、テイタ」で発話時以前のアスペクトを表し、「ル、テイル」で発話時以後のアスペクトを表す。

4.3 開始直後

開始(後)の局面は動作の出来事に限られ、中国語の“了”と日本語の「タ」が対応して表す。

孫偉さんの「研究者紹介」は『日本語構造伝達文法・発展D』の p.70 にある。

表1 中国語の“了”とその日本語対応表現

アスペクト	テンス		過去		現在		未来	
基本的アスペクト	動作開始	×	×	×(補助動詞)	×	ル	×	ル
	動作進行	×		テイタ	×	テイル	×	テイル
	動作完了	了		タ、テイタ	了	タ、テイタ	了	テシマウ
	結果状態持続	了		テイタ、テアッタ	了	テイル、テアル	×	テイル
	結果状態完了	了		テイタ	了	テイタ	完了	テシマウ
派生的アスペクト	結果記憶持続	了		テイタ	了	テイル	×	テイル
	反復	動詞・数量詞・“了”の結合		タ、テイタ	動詞・数量詞・“了”の結合	ル、テイル	動詞・数量詞・“了”の結合	ル、テイル
	経験	×		テイタ	×	テイル		
	単純状態	了		テイタ	了	テイル	×	テイル
	パーフェクト	了		テイタ	了	タ、テイル	了	テイル
開始直後					了	タ		

(×：中国語の“了”または日本語の「ル、タ、テイル、テイタ」以外の標記で表す。空欄：局面が存在しない。)

参考文献

日本語

- 今泉喜一 (2000) 『日本語構造伝達文法』 揺籃社
- 今泉喜一 (2012) 『日本語構造伝達文法[改訂12]』 揺籃社
- 奥田靖雄 (1977) 「アスペクトの研究をめぐって—金田一的段階—」 『宮城教育大学国語国文8』 : 51-63
- 奥田靖雄 (1978) 「アスペクトの研究をめぐって(上・下)」 『教育国語』 第53, 54号
- 金田一春彦 (1950) 「国語動詞の一分類」 (金田一春彦(1976)に収録, 5-26)
- 金田一春彦 (1955) 「日本語動詞のテンスとアスペクト」 (金田一春彦(1976)に収録, 27-62)
- 金田一春彦 (1976) 『日本語動詞のアスペクト』 むぎ書房
- 工藤真由美 (1985) 「ノ, コトの使い分けと動詞の種類」 『国文学解釈と鑑賞』 50巻 3号 : 45-53
- 工藤真由美 (1995) 『アスペクト・テンス体系とテキスト』 ひつじ書房
- 高橋太郎 (1985) 『現代日本語動詞のアスペクトとテンス』 秀英出版
- 寺村秀夫 (1984) 『日本語のシンタクスと意味1』 くろしお出版
- 藤井正 (1966) 「『動詞+ている』の意味」 国語研究室 5(金田一春彦(1976)に収録, 97-116)
- 吉川武時 (1973) 「現代日本語動詞のアスペクトの研究」 『日本語動詞のアスペクト』 金田一春彦 (1976)に収録, 155-327
- 副島健作 (2007) 『日本語のアスペクト体系の研究』 ひつじ書房

中国語

- 戴耀晶 (1997) 『現代漢語時体系統研究』 浙江教育出版社
- 房玉清 (1992) 『实用漢語語法』 北京語言文化大学出版社
- 侯学超 (1998) 『現代漢語虚詞詞典』 北京大学出版社
- 李呐・石毓智 (1994) 「論漢語体標記誕生的機制」 『中国語文』 第2期 : 82-96
- 李鉄根 (1999) 『現代漢語時制研究』 遼寧大学出版社
- 張斌 (2001) 『現代漢語虚詞詞典』 商務印書館
- 李宇明 (2002) 「論“反復”」 『中国語文』 第3期 : 210-216
- 任鷹 (2000) 「静態存在句中“V了”等于“V着”現象解析」 『世界漢語教学』 第1期 : 28-34
- 竟成 (1993) 「關於動態助詞“了”的語法意義問題」 『語文研究』 第1期 : 52-57
- 劉月華ほか (2001) 『实用現代漢語語法』 商務印書館
- 呂叔湘 (1999) 『現代漢語八百詞(增訂本)』 商務印書館

使用例文

- 徐一平ほか (2003) 『中日対照語料庫CD版』 北京日本学研究中心

コラムE8

今泉喜一

「日本語構造伝達文法」の著作 5+6

「日本語構造伝達文法」は現在、以下に記すように、5冊の入門書と、(本書を含む) 6冊の研究書を出している。

[入門書]

- ① 『日本語のしくみ(1)－日本語構造伝達文法S－』 2015
構造の基本・複主体/複主語・態
- ② 『日本語のしくみ(2)－日本語構造伝達文法T－』 2016
テンス/アスペクト・絶対/相対時
- ③ 『日本語のしくみ(3)－日本語構造伝達文法U－』 2017
形容詞(構造・複主語・否定・時間)
- ④ 『日本語のしくみ(4)－日本語構造伝達文法V－』 2019
テ形音便・古語時相・動詞態拡張
- ⑤ 『日本語のしくみ(5)－日本語構造伝達文法W－』 2020
構造形成力・格・の・実体分類

[研究書]

- ① 『日本語構造伝達文法』 2000 (2005, 2012)
構造の基本を扱う。(構造・態・アスペクト・テンス・複主語・否定等)
- ② 『日本語構造伝達文法 発展A』 2003
構造の基本を扱う。(主/を格・テ/タ・従文・修飾法・構造練習帳 等)
- ③ 『日本語態構造の研究－日本語構造伝達文法・発展B－』 2009
態を扱う。(原因/許容態・許容態の語幹化・態拡張24方式 等)
- ④ 『主語と時相と活用と－日本語構造伝達文法・発展C－』 2014
主語・時相・活用を扱う。(二重主語・うなぎ文・接続・時相・発話等)
- ⑤ 『日本語・中国語・印欧語－日本語構造伝達文法・発展D－』 2018
(語順<印欧語>・格表示・歩く/走る・無・語法アスペクト・4つの句)
- 本書⑥ 『日本語・中国語・モンゴル語－日本語構造伝達文法・発展E－』 2021
(国語学への提言・の/相対時・未・感覚動詞/知覚動詞・モ日の主格/対格表現・の/的・兼語句・「了」の日本語表現・粵語麻垌方言)